

株式会社4°Cホールディングス
(東証一部 8008)

第66期(2016年2月期)第2四半期決算説明会

2015年10月5日

4°C holdings group

Contents

I. 2016年2月期第2四半期決算概要と総括

II. 2016年2月期通期業績予想、下期重点取り組み課題と施策

III. 第4次中期経営計画の進捗

(株)4°Cホールディングス 代表取締役社長 鈴木秀典

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

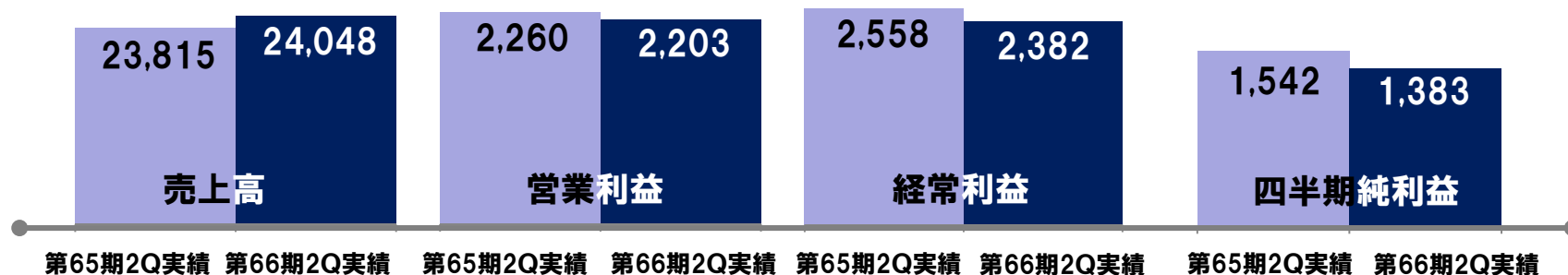
当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

連結業績の概要

増収、営業利益・経常利益・四半期純利益は計画以上の推移

売上高 240.4億円(前年同期比1.0%増) 営業利益 22.0億円(同2.5%減)
 経常利益 23.8億円(同6.9%減) 四半期純利益 13.8億円(同10.3%減)

(単位:百万円)

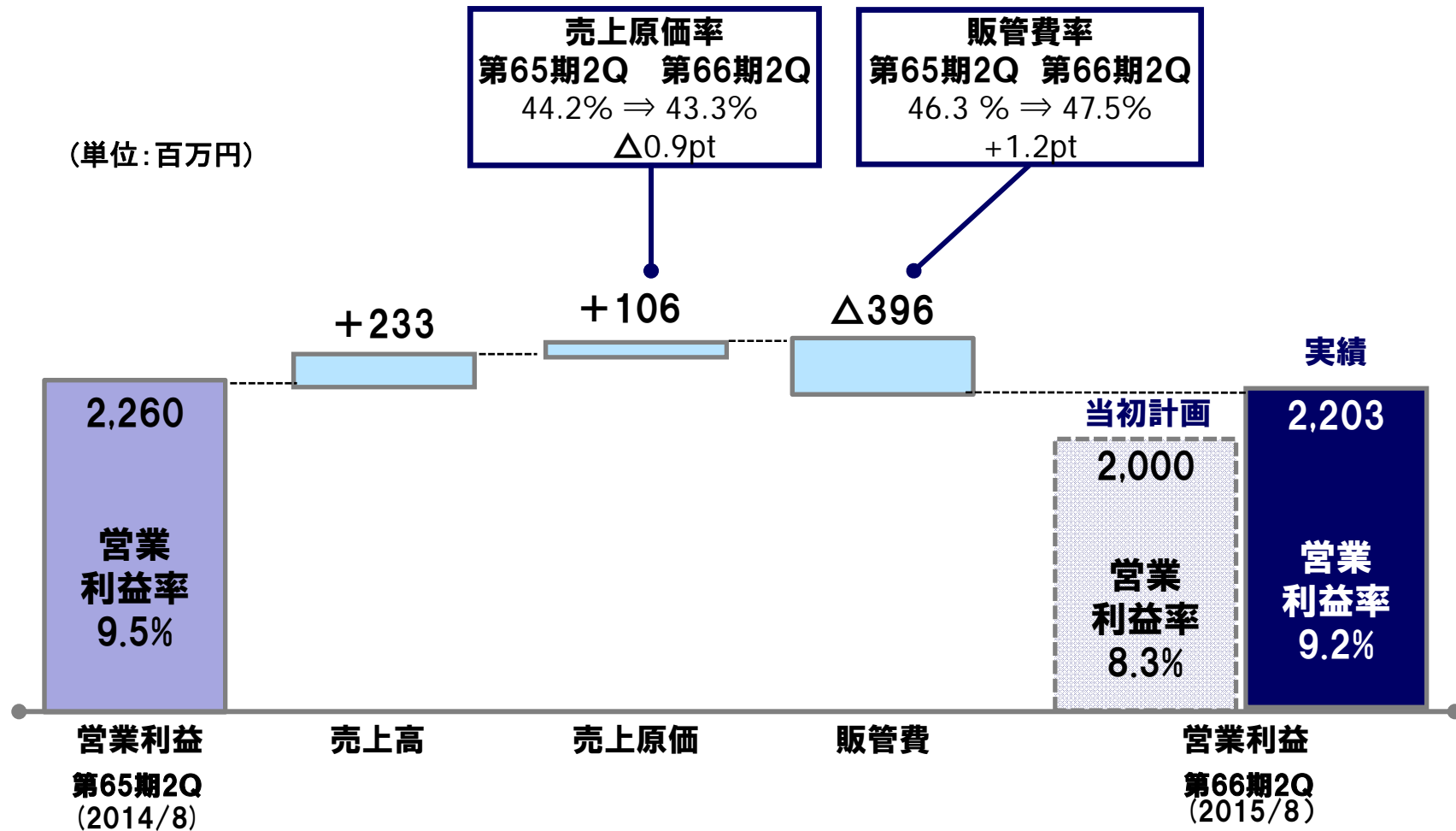


(百万円、%)	第65期2Q (2014/8)		第66期2Q (2015/8)		第66期2Q (2015/8)		前年同期比	計画比
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)	増減(%)	増減(%)
売上高	23,815	100.0	24,000	100.0	24,048	100.0	+1.0	+0.2
売上総利益	13,294	55.8	13,569	56.5	13,633	56.7	+2.6	+0.5
売上総利益率	55.8		56.5		56.7		+0.9pt	+0.2pt
販売管理費	11,033	46.3	11,569	48.2	11,430	47.5	+3.6	△1.2
営業利益	2,260	9.5	2,000	8.3	2,203	9.2	△2.5	+10.2
経常利益	2,558	10.7	2,300	9.6	2,382	9.9	△6.9	+3.6
四半期純利益	1,542	6.5	1,300	5.4	1,383	5.8	△10.3	+6.4

(※第66期(2016年2月期)より、従前の営業収益相当額を売上高として表記)

営業利益の状況

営業利益 22.0億円 営業利益率9.2%



営業利益・経常利益・四半期純利益の推移

(単位:百万円、%)

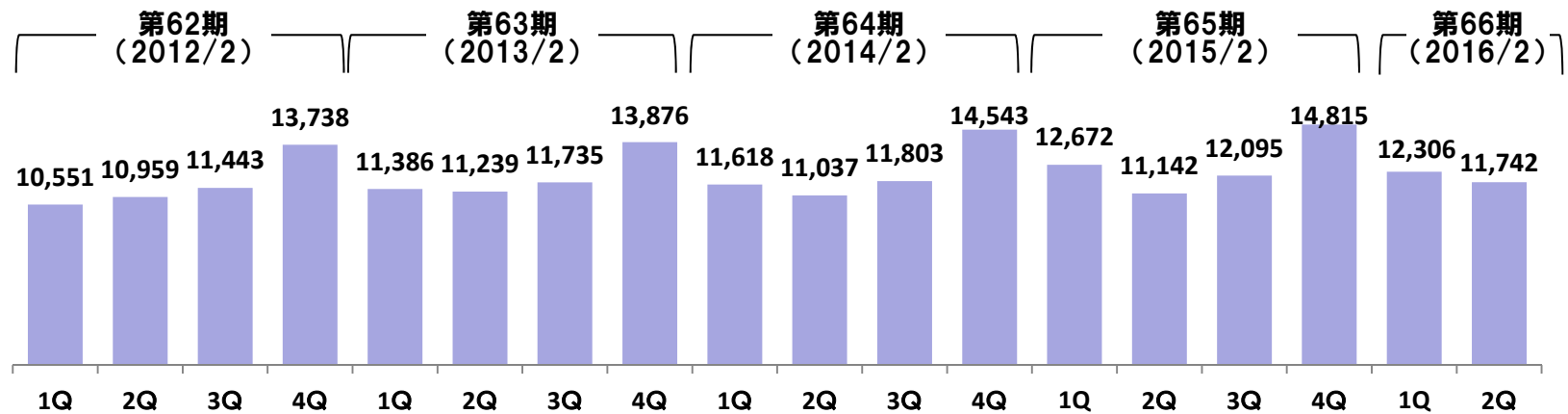
段階利益	第65期 1Q期間	第65期 2Q期間	第65期 上期累計 (2014/8)	第66期 1Q期間	第66期 2Q期間	第66期 上期累計 (2015/8)	前年差	前年比
売上高	12,672	11,142	23,815	12,306	11,742	24,048	223	+1.0
売上総利益	7,162	5,913	12,866	7,083	6,549	13,633	767	+6.0
営業利益	1,560	700	2,260	1,348	855	2,203	△57	△2.5
営業外収益	299	41	340	342	△129	213	△127	△37.4
営業外費用	3	39	42	5	28	33	△8	△20.4
経常利益	1,856	702	2,558	1,685	697	2,382	△176	△6.9
特別利益	47	104	152	—	—	—	△152	—
特別損失	19	80	99	13	152	165	66	+66.7
税金等調整前四半期純利益	1,884	727	2,612	1,672	545	2,217	△394	△15.1
四半期純利益	1,184	357	1,542	1,213	169	1,383	△159	△10.3

四半期業績の推移

売上高は順調に成長、営業利益は平準化が進む

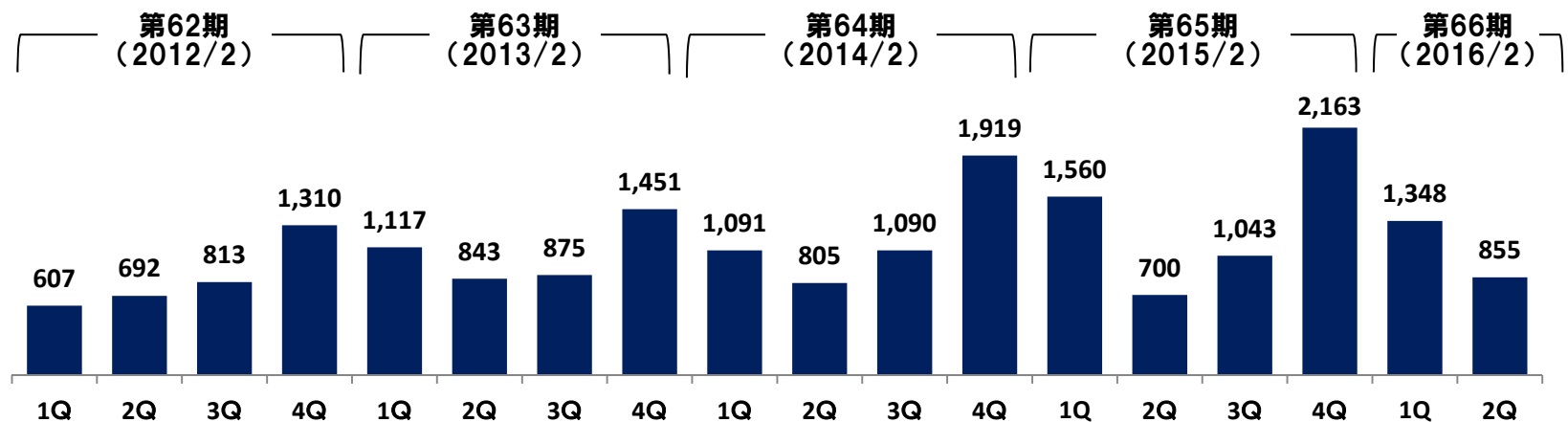
売上高 四半期別の推移

(単位:百万円)



営業利益 四半期別の推移

(単位:百万円)



2015年2月期までに構築された成長軌道のもと、
2016年2月期より一層の成長拡大に向け、経営管理の明確化を目的に
事業セグメントを変更

旧事業セグメント

FDCプロダクツグループ

アスティグループ

(株)三鈴

(株)アージュ



新しい事業セグメント

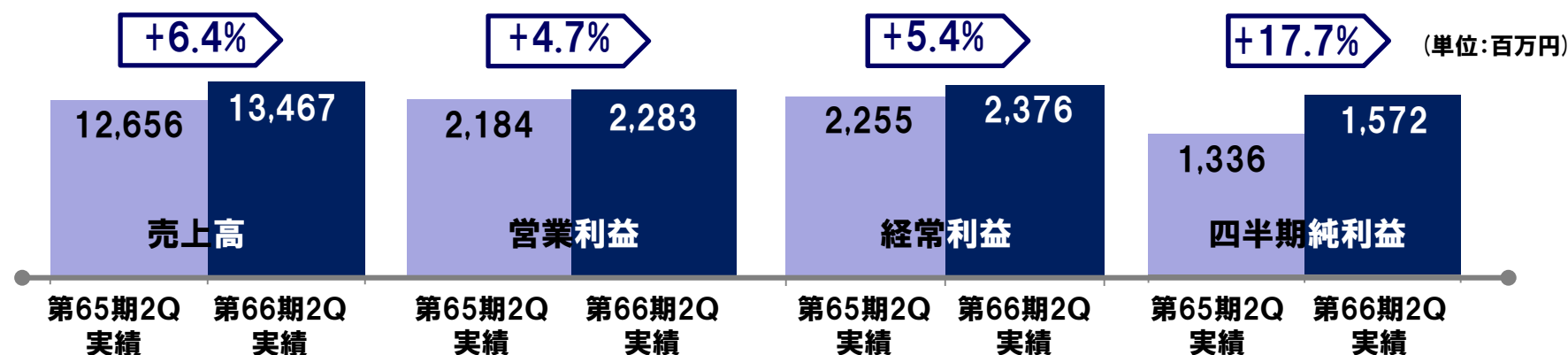
ジュエリー事業

アパレル事業

セグメント別の概要

◆ ジュエリー事業

- 売上高、利益高ともに過去最高を更新
- 「4°C BRIDAL」はフェア施策が奏功し、前年同期を上回り計画以上に推移
- 「canal 4°C」、「Luria 4°C」も好調に推移、出店拡大もあり計画以上に推移



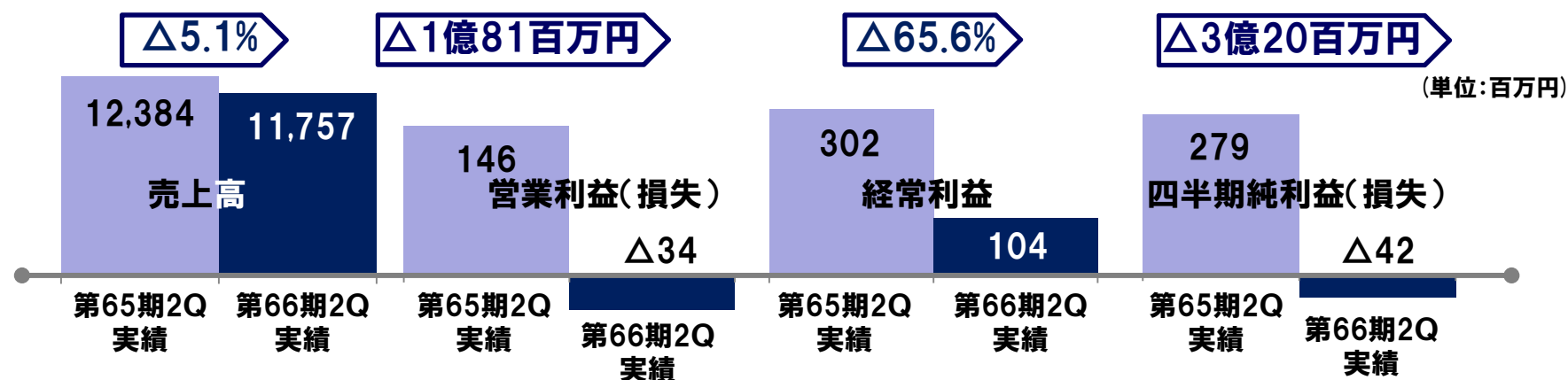
(百万円、%)	第65期2Q (2014/8)		第66期2Q (2015/8)				前年同期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	12,656	100.0	12,996	100.0	13,467	100.0	+6.4	+3.6
営業利益	2,184	17.3	1,995	15.4	2,283	16.7	+4.7	+14.4
経常利益	2,255	17.8	2,063	15.9	2,376	17.6	+5.4	+15.1
四半期純利益	1,336	10.6	1,273	9.8	1,572	11.7	+17.7	+23.5

(※内部相殺前数値)

セグメント別の概要

◆ アパレル事業

- 売上高、利益高ともに厳しい状況で推移
- アパレルメーカー事業、アパレルSPA事業が売上高、利益高ともに苦戦
- デイリーファッション事業は「パレット」が好調、新規出店もあり順調に推移



(百万円、%)	第65期2Q (2014/8)		第66期2Q (2015/8)				前年同期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	12,384	100.0	12,273	100.0	11,757	100.0	△5.1	△4.2
営業利益(損失)	146	1.2	97	0.8	△34	—	△181百万円	△131百万円
経常利益	302	2.4	222	1.8	104	0.9	△65.6	△53.2
四半期純利益 (損失)	279	2.3	52	0.4	△42	—	△320百万円	△94百万円

(※内部相殺前数値)

財政状態、キャッシュ・フローの状況(連結)

- 総資産590億円、負債146億円、純資産444億円
- 自己株式100万株を26億円にて取得、資本効率が向上

財務状況

2015年8月末時点

総資産 590億円	146億円	負債
	444億円	純資産

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)	第65期2Q (2014/8)	第66期2Q (2015/8)	差額
営業CF	538	408	△129
投資CF	287	△739	△1,027
財務CF	△590	△2,775	△2,184
フリーCF	825	△331	△1,156

ジュエリー事業の好調により、各段階利益ともに計画を上回る推移

1. ジュエリー事業

- 「4°C」はアイテム拡充による売場面積の拡大や複合店化等、既存店対策に取り組んだことで引き続き成長
- 「4°C BRIDAL」はフェア施策の奏功もあり好調に推移
- 「canal 4°C」「Luria 4°C」の新規出店が順調に進展し、売上拡大に寄与
- 客数増加への重点的な取り組みは順調に進む
- 増収・過去最高益を達成

2. アパレル事業

- アスティグループのアパレルメーカー事業はバングラデシュへの生産シフトが順調に進むも、受注が低下し苦戦
- 三鈴は販売単価の下落による荒利益率の低化もあり、厳しい状況で推移
- アージュのデイリーファッション「パレット」は既存店好調、出店拡大も進む

出退店の状況と計画

- ジュエリー事業は計画通りの出店を実施
- アパレル事業では不採算店舗を圧縮

		ジュエリー事業					アパレル事業		合計※	
		国内ジュエリー					海外	(株)三鈴		(株)アージュ
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計				
第66期 (2015/3)	期首	6	90	37	60	193	6	76	77	336
第66期 上期実績 (2015/8)	出店	0	4	0	7	11	0	1	2	14
	退店	0	5	0	0	5	0	8	5	18
	2Q 期末	6	89	37	67	199	6	69	74	332
第66期 下期計画 (2016/2)	出店	0	2	0	10	12	0	1	3	16
	退店	0	1	0	3	4	0	3	0	7
	期末	6	90	37	74	207	6	67	77	341

(※アージュにおける販売代行店舗調整後数値)

ジュエリー事業 ～国内取扱いブランド店舗数の状況と計画

- ジュエリー取扱い店舗、大型複合店化等もあり増加
- バッグ取扱い店舗、アイテム拡充による売場面積拡大により増加

		4°C	4°C BRIDAL	canal 4°C	その他※	ジュエリー計	4°Cバッグ	Luria 4°C	バッグ計
第65期 (2015/2)	期末	89	44	36	23	192	34	7	41
第66期 上期 実績 (2015/8)	出店	5	2	4	7	18	13	5	18
	退店	1	0	0	5	6	0	0	0
	2Q 期末	93	46	40	25	204	47	12	59
第66期 下期 計画 (2016/2)	出店	1	1	6	2	10	6	6	12
	退店	0	0	2	2	4	0	0	0
	期末	94	47	43	24	210	53	18	71

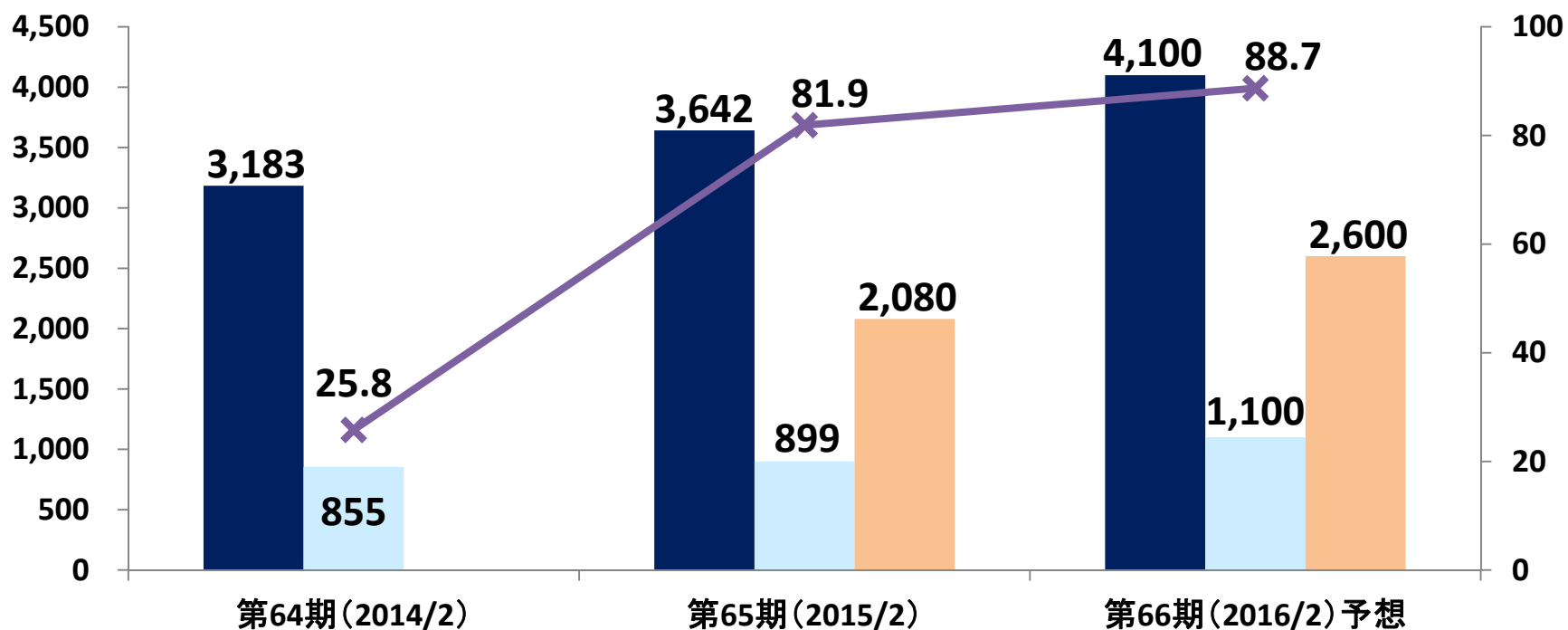
(※その他: EAU DOUCE4°C、RUGIADA、MAISON JEWELL、deux et deux)

株主還元方針①

- 安定的・継続的な配当を基本に機動的な自己株式の取得も視野に入れる
 - ⇒ 2016年2月期中間配当は前年同期に比べ4円増配の20円
 - ⇒ 2015年8月に1,000,000株の自己株式の取得を実施

(単位:百万円)

(単位:%)



■ 当期純利益(左目盛り) ■ 配当総額(左目盛り) ■ 自己株式買入額(左目盛り) ◆ 総配分性向(右目盛り)

株主還元方針②

- 2016年2月期は年間40円と8円増配予定
- 大規模な自己株式の取得により、第66期末の総配分性向は88.7%を予想

	第64期 (2014/2)	第65期 (2015/2)	第66期 (2016/2) 予想
1株当たり年間配当金(円)	30	32	40
自己株式買入額(百万円)	—	2,080	2,600
総配分性向(%)	25.8	81.9	88.7
1株当たり当期純利益(円)	116.40	134.99	154.23

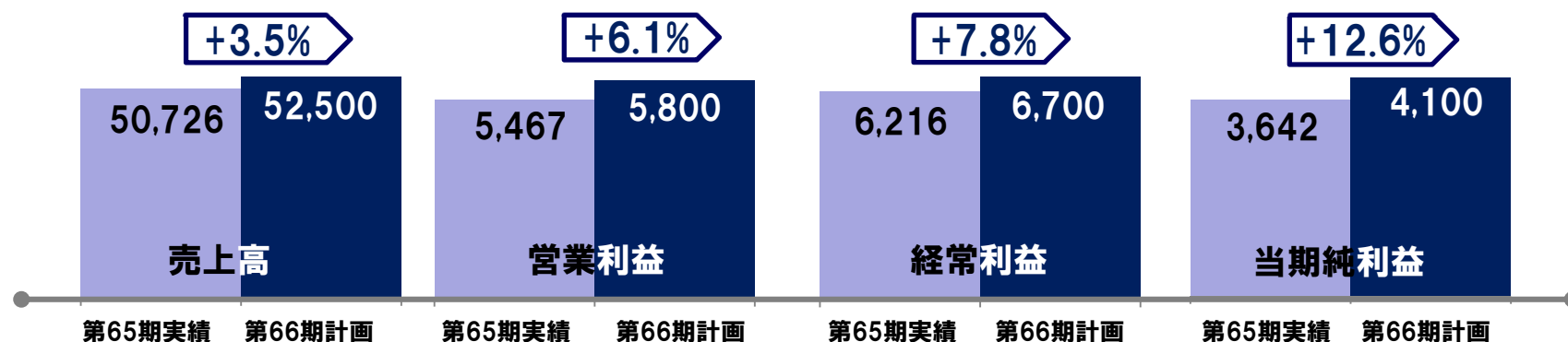
- I. 2016年2月期第2四半期決算概要と総括
- II. 2016年2月期通期業績予想、下期重点取り組み課題と施策**
- III. 第4次中期経営計画の進捗

2016年2月期通期業績予想

増収増益、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益更新の見通し

売上高 525億円（前期比3.5%増） 営業利益58億円（前期比6.1%増）

経常利益 67億円（前期比7.8%増） 当期純利益41億円（前期比12.6%増）



(百万円、%)	第65期(2015/2)		第66期(2016/2)			前期比 増減(%)
	実績	(%)	期初計画	(%)	修正計画 計画差	
売上高	50,726	100.0	52,500	100.0	52,500	+3.5
売上総利益	28,937	57.0	30,350	57.8	30,350	+4.9
売上総利益率	57.0		57.8		57.8	+0.8Pt
販売管理費	23,469	46.3	24,550	46.8	24,550	+4.6
営業利益	5,467	10.8	5,800	11.0	5,800	+6.1
経常利益	6,216	12.3	6,700	12.8	6,700	+7.8
当期純利益	3,642	7.2	4,100	7.8	4,100	+12.6

セグメント別通期業績予想(内部相殺前数値)

- ジュエリー事業は引き続き増収増益の見通し
- アパレル事業は売上高、営業利益とも通期黒字の見通し

(百万円、%)		第65期 (2015/2)	第66期(2016/2)		
		実績	上期実績	通期予想	前期比
ジュエリー事業	売上高	28,410	13,467	30,770	+8.3
	営業利益	5,026	2,282	5,589	+11.2
	経常利益	5,161	2,375	5,747	+11.4
	当期純利益	2,991	1,580	3,661	+22.4
アパレル事業	売上高	25,217	11,758	23,732	△5.9
	営業利益	523	△34	270	△48.4
	経常利益	830	104	538	△35.2
	当期純利益	594	△43	245	△58.8

(※第65期の実績は遡及修正した数値)

2016年2月期下期重点施策～ジュエリー事業 既存店対応①

4°C
holdings group

- ゾーン・アイテムの拡充による既存店の売場面積拡張、売上の拡大
- 4°C Pregenceによるハイゾーンの拡充
- バッグやパース、革小物、4°C Watchの投入によるアイテムの拡充



(4°C Pregence)



(4°C Bag)



(4°C池袋東武店)



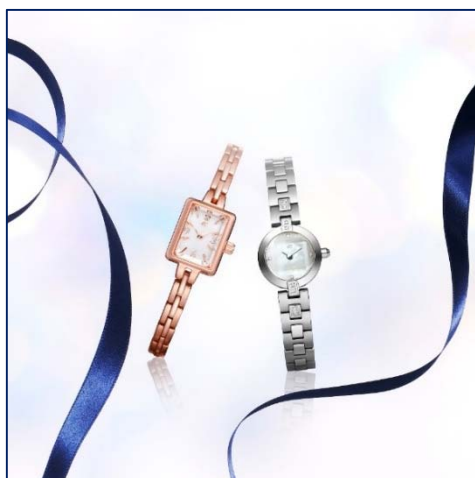
(4°C四日市近鉄店) 19

2016年2月期下期重点施策～ジュエリー事業 既存店対応②

- Watchの大幅取扱い店舗、2015年2月末35店舗⇒8月末51店舗、2016年2月末には55店舗へ拡大予定
- ジュエリー事業既存店売上高通期目標は前年比104.2%

(百万円、%)

	上期				下期		通期	
	計画	実績	計画比	前年同期比	計画	前年同期比	計画	前期比
ジュエリー事業 既存店合計	11,713	11,776	+0.5	+3.0	15,401	+5.7	27,104	+4.2

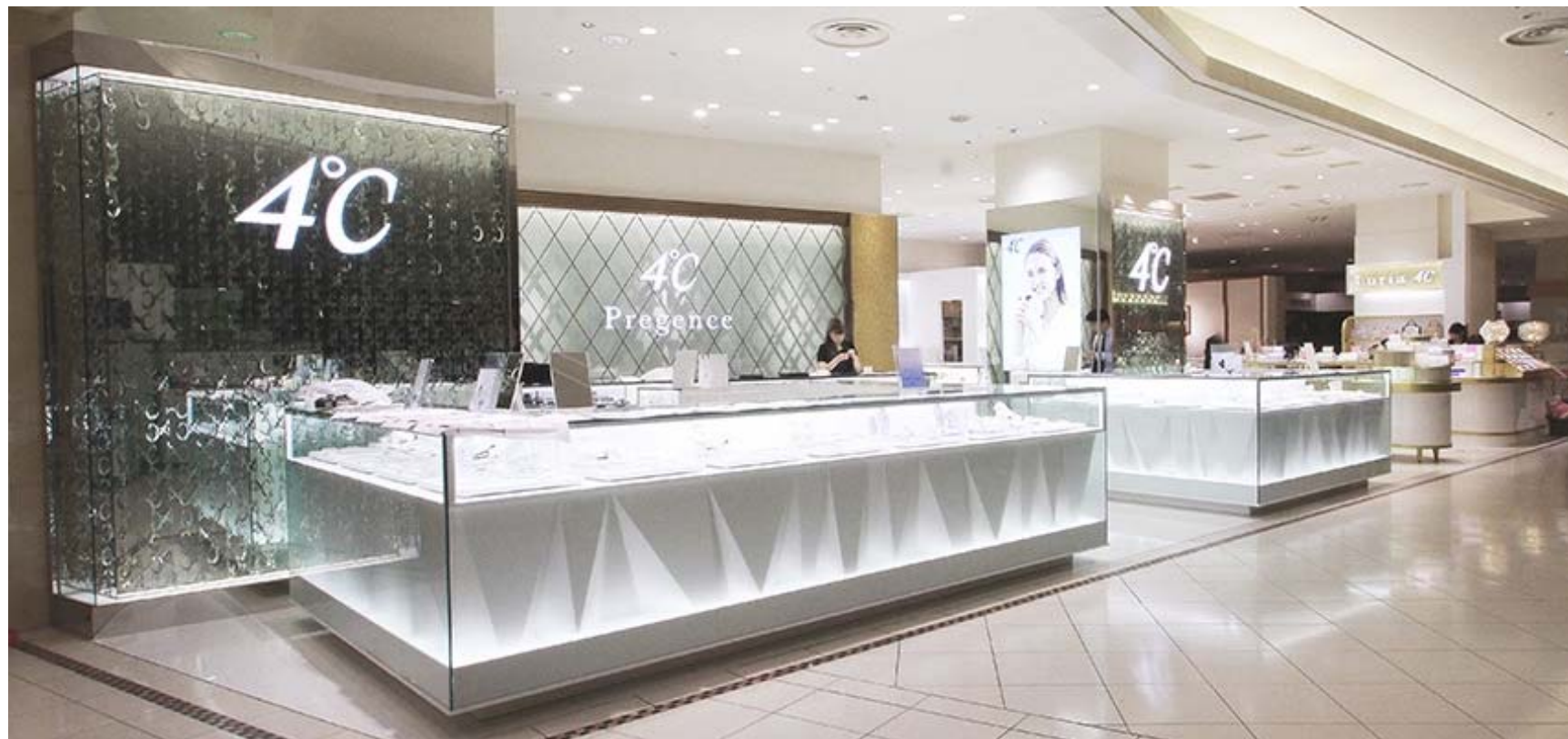


(4°C Watch)



(4°C 京都大丸店) 20

- 昨年改装により大型複合店となった4°Cグランデュオ立川店の成功により大型複合店の開発に手応え
- 今年度は新規出店1店舗、改装による大型複合店化を3店舗実施、現在計5店舗にて展開



(4°Cグランデュオ立川店)

2016年2月期下期重点施策～ジュエリー事業 大型複合店

4°C
holdings group

□ 複合店へ4°Cブライダルを投入することで大幅に伸張、ファッションジュエリーにも相乗効果



2016年2月期下期重点施策～ジュエリー事業 出店戦略

4°C
holdings group

- 「canal 4°C」、「Luria 4°C」による出店拡大の継続
- 「4°C BRIDAL」の新規出店



(canal 4°C仙台エスパル店)



(Luria 4°Cルミネ池袋店)

2016年2月期下期重点施策～ジュエリー事業 顧客数の拡大

4°C
holdings group

◆ 顧客数の拡大に向けた商品、EC、店頭での取り組み

- 消費の二極化対応、自家需要対策の継続
- 上期で前年同期比約30%増と好調なEコマースへの投資を継続。
ブライダルジュエリーの取り扱いに向けた運用の検証
- インバウンド需要に対応した販売スタッフの採用と配置

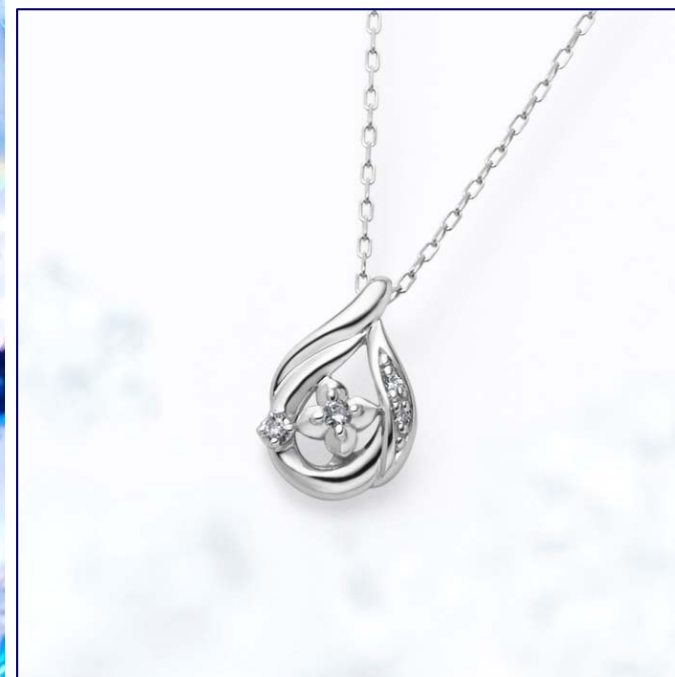


(4°C Eternal Silver)



(ECサイト『ジュエリーブティック』)

- クリスマス商戦に向けたテレビCMを今年も実施
- 男性の認知度と「4°C」ブランドの知的なイメージ訴求を図るため新聞広告を予定
- クリスマス限定商品の開発、クリスマスフェアの実施

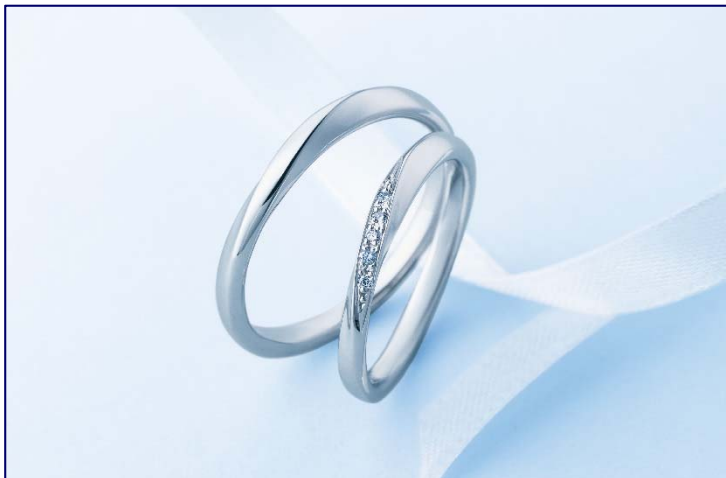


(4°C X' mas限定商品)

2016年2月期下期重点施策～ジュエリー事業 4°Cブライダル

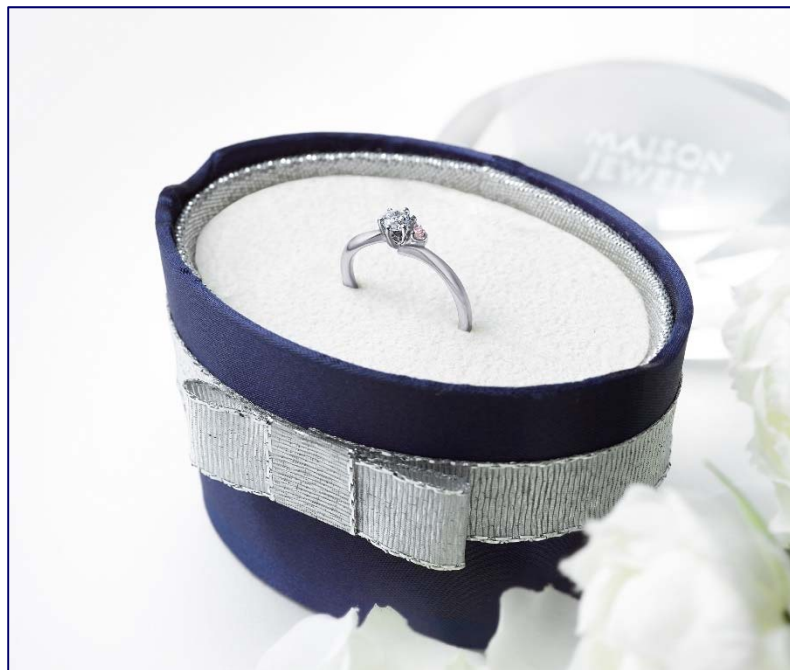
4°C
holdings group

- 上期に奏功したフェア施策の継続実施
- クリスマスブライダル・フェアによる限定商品の展開



◆ 郊外型SC向け「MAISON JEWELL」の育成によるチャネル戦略の推進とブランドポートフォリオの充実

- 郊外のショッピングモールに4店舗出店している「MAISON JEWELL」はブライダル需要を取り込み好調に推移
- 次期中計の成長を担うブランドへの育成を目指し、成功モデルを基にMD戦略に磨きをかけ、次期の出店拡大を検討



◆ アパレルメーカー:バングラデシュへの生産シフト継続、新規取引先の開拓

- バングラデシュへの生産シフトの継続による優位性の確立
- 既存取引先との関係強化と新規取引先の開拓に向けた営業活動の推進

◆ アパレルSPA:顧客ターゲットを明確にした商品提案の推進

- イベント提案力の強化による既存店の活性化
- 商品構成の見直しによる荒利益率の改善

◆ デイリーファッション:「パレット」の関西ドミナント出店の継続

- 既存店の活性化による好調継続
- 計画通りの出店の実施、下期3店舗の出店により年間5店舗を予定

- I. 2016年2月期第2四半期決算概要と総括
- II. 2016年2月期通期業績予想、下期重点取り組み課題と施策
- III. 第4次中期経営計画の進捗**

第4次中期経営計画基本方針

対象期間:2016年2月期～2018年2月期の3ヵ年

◆ スローガン

挑戦と進化 Challenge and Evolution

「100年企業」、「100年ブランド」を目指して

◆ ビジョン達成に向けて

人材の育成

商品力の強化

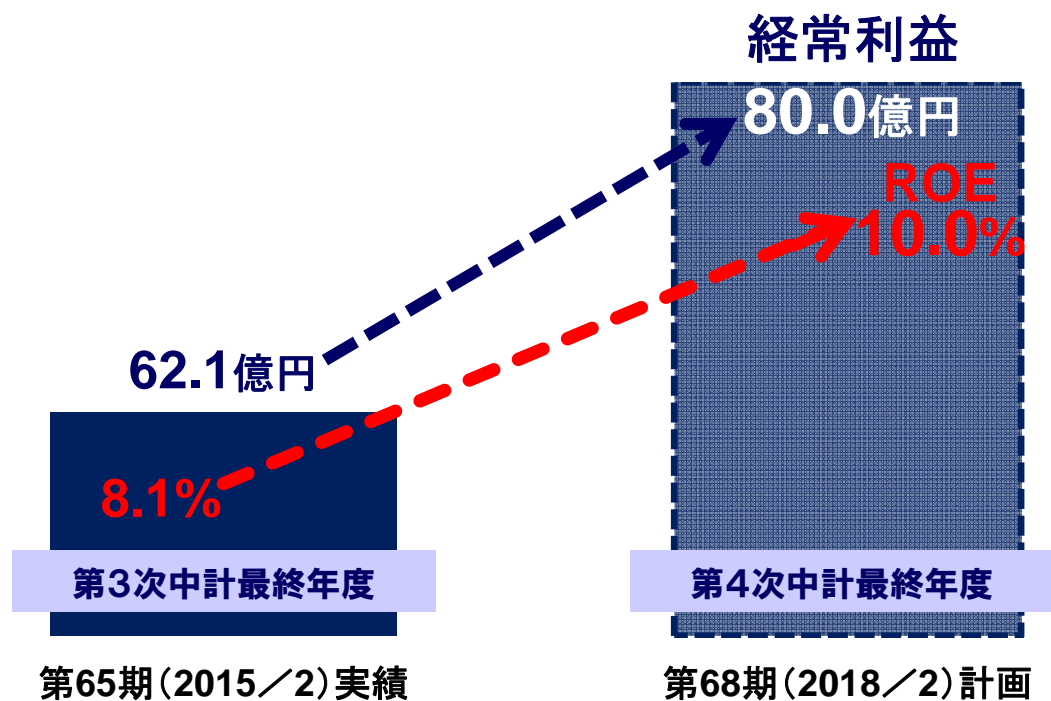
マーケット動向の把握

第4次中期経営計画基本方針～数値ビジョン

数値ビジョン（2018年2月期）

連結売上高	600億円以上
経常利益	80億円以上
ROE	10%以上

数値ビジョン達成イメージ～経常利益とROEの見通し



□積極的な出店戦略

⇒ 2018年2月期までの3年間で、70店舗の新規出店を目標に積極的な出店戦略を継続

□次の成長戦略を担う事業の開発・育成

⇒ 「Luria 4°C」、EC事業、海外事業の拡大、および新ブランド・新ゾーンの開発に注力

□「成長エンジン6本柱」の継続による事業規模の拡大

⇒ 第3次中期経営計画にて中長期的な成長エンジンとして定めた6本の柱(「4°C」ジュエリー、「4°C BRIDAL」、
「canal 4°C」、アパレルメーカー事業、アパレルSPA事業、
デリーファッション事業)により、引き続き業績を牽引

第4次中期経営計画の進捗状況

重点施策を着実に実施

重点施策

初年度上期の進捗

積極的な出店戦略、3ヵ年で70店舗



2015年8月末で14店舗

次の成長戦略を担う事業の開発・育成



- ・「Luria 4°C」を5店舗出店
- ・ECによるブライダルジュエリーの取扱い検証
- ・中国での出店拡大に向け、上海現地法人を活用したノウハウ収集を継続

「成長エンジン6本柱」の継続による事業規模の拡大



- ・「4°C」ジュエリー、「canal 4°C」の好調継続
- ・「4°C BRIDAL」はフェア施策が奏功し回復
- ・デイリーファッション事業「パレット」の出店拡大継続

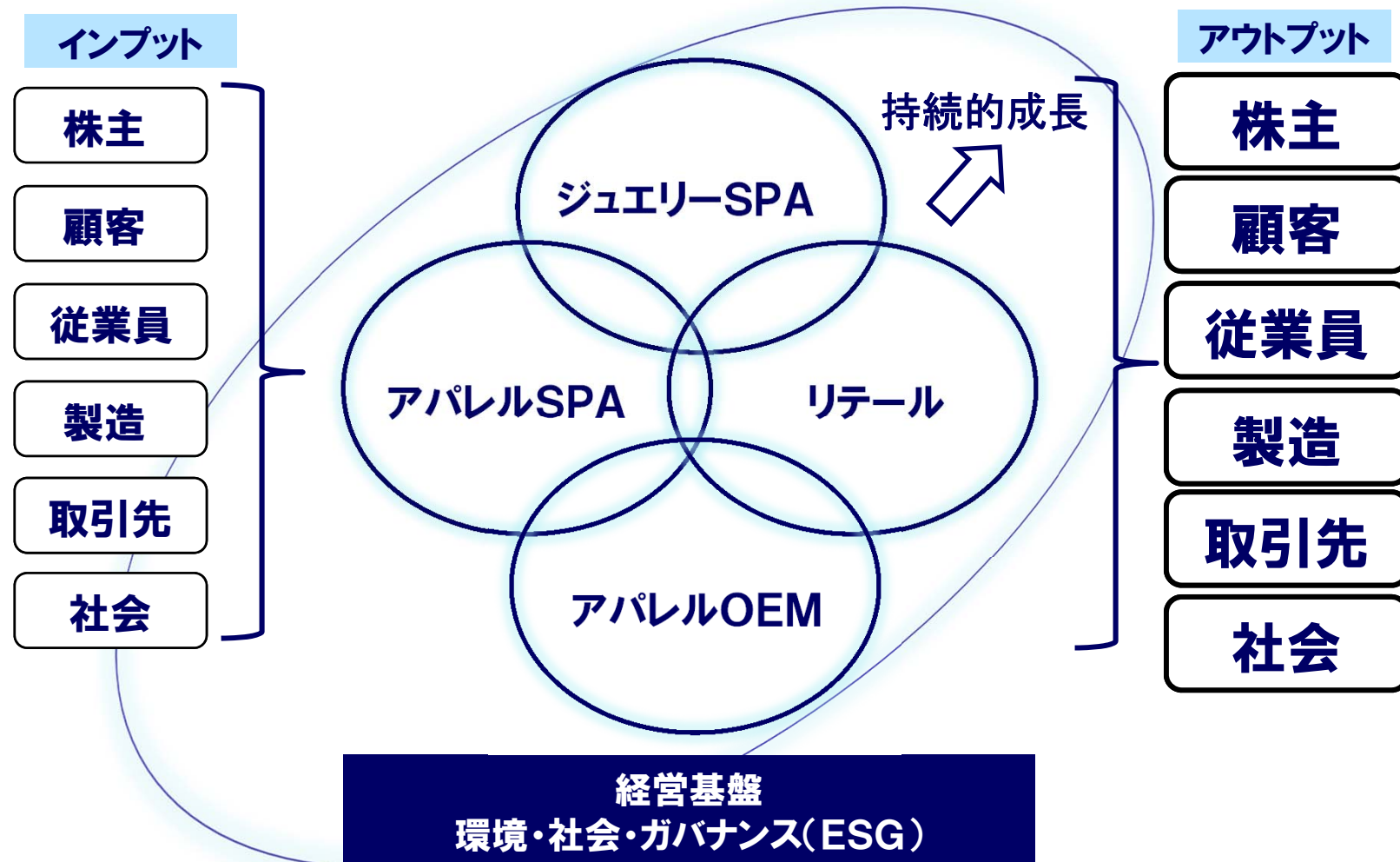
**総配分性向の目標を第3次中期経営計画時の
25%から段階的に高め、30%をめざす。**



- **安定的・継続的な配当の他、機動的な自己株式の取得を継続**
- **株主への利益還元後のキャッシュは、成長に向けた内部への投資やM&Aへ**

安定的・継続的成長に向けて～持続的価値の創出

ジュエリーSPA、アパレルOEM、アパレルSPA、リテールの4つの事業で
価値拡大を目指す



- コーポレートユニバーシティ『まっとうな経営塾』の設立（11月予定）
- 教育専門の研修施設“F.D.C FRIENDS COLLEGE”での教育継続
- ワーク・ライフ・バランス検討プロジェクトの発足
- ダイバーシティ推進委員会の設置による女性の活躍推進



（“F.D.C FRIENDS COLLEGE”の
販売研修と模擬店スペース）



- お客様の安心・安全を担保し、ブランド価値を維持・向上させるため品質管理体制強化への投資を実施
- 相模原ジュエリーセンターに業界では類を見ない高水準の品質管理体制を構築
- X線検査機の増設や約100名規模の検品体制を構築、ジュエリー全数検品を実施



- **2016年2月期第2四半期業績は売上高、各段階利益ともに計画を上回り極めて順調に推移**
- **2016年2月期通期見通しは増収増益、営業利益・当期純利益は8期連続、経常利益は7期連続で過去最高を更新予定**
- **堅調な業績と、100万株の自己株式の取得により2016年2月期のROEは9.0%と、0.9%改善の見込み**
- **下期最大のポイントであるクリスマス商戦に向けて販促活動や限定商品の開発に取り組む**
- **第4次中期経営計画の進捗状況は、出店、事業育成、事業規模の拡大のいずれも順調に推移**

本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社4°Cホールディングス

総務部 小塚

TEL 03-5719-3429

FAX 03-5719-4462

E-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。